

2月20日開催の組合会において、令和2年度健康保険料率、令和2年度予算が承認されましたのでお知らせいたします。

## 令和2年度の健康保険料率

### ☆ 健康保険料率 ☆

令和2年度予算編成にあたり、高齢者納付金及び保険給付費が高額で推移するため、一般保険料率を93/1,000から95/1,000に引き上げさせていただくこととなりました。

○一般保険料率

令和2年度の一般保険料率は下記のとおりです。

	一般保険料率	調整保険料率	合計保険料率
事業主	55.226/1,000 (54.220/1,000)	0.774/1,000 (0.780/1,000)	56.000/1,000 (55.000/1,000)
被保険者	38.474/1,000 (37.470/1,000)	0.526/1,000 (0.530/1,000)	39.000/1,000 (38.000/1,000)
合計	93.700/1,000 (91.690/1,000)	1.300/1,000 (1.310/1,000)	95.000/1,000 (93.000/1,000)

※( )内は昨年度の料率

○介護保険料率

令和2年度の介護保険料率(昨年度と変更ありません)

介護保険料率	
事業主	7.500/1,000
被保険者	7.500/1,000
合計	15.000/1,000

○実施時期 : 令和2年3月1日(令和2年4月20日払い給与控除分から適用)

## 被扶養者の異動について

<異動届をお忘れなく!>

もうすぐ新年度になりますが、特にご子息が学校を卒業し就職などによりみなさんの扶養から外れる時は、当健康保険組合へ「被扶養者異動届」を提出いただき、扶養から外す手続きを忘れないようお願いいたします。  
扶養に該当しない人を扶養認定していると、余分な医療費や納付金を支払うことになり、健保財政に大きな影響を与えることになります。

## 令和2年度予算

### ☆ 一般勘定 ☆

- 基礎数値として、被保険者数は新入社員の増加等で前年度見込みに比べ5名増の2,390名としました。保険料率は95/1,000に変更となります。標準報酬月額408,231円、総標準賞与額は2,359百万円としました。
- 収入面では、別途積立金からの繰入が150百万円となります。一般保険料は1,307百万円、調整保険料が18百万円を見込んでいます。その他財政調整交付金11百万円、特定健康診査等事業収入6百万円等を加え、収入合計は1,496百万円となります。
- 一方支出面では、保険給付費は前年度実績見込みに対し1百万円増の630百万円を見込みました。また、納付金では前期高齢者納付金が、前期高齢者の医療費は引き続き高額でしたが、前々年度の精算額が減額となったため、40百万円減の383百万円となります。後期高齢者支援金も5百万円減の297百万円となり、納付金全体で680百万円となります。保健事業費は65百万円、財政調整拠出金18百万円、予備費76百万円等を加え、支出合計は1,496百万円を見込んでいます。
- 経常収支差額については、経常収入は1,317百万円、経常支出は1,402百万円で、△85百万円の経常赤字となります。

### ☆ 介護勘定 ☆

- 介護勘定の支出は介護納付金のみですが、令和2年度は全面総報酬割となるため納付金がさらに増加する傾向となっています。介護保険料率については、昨年同様15/1,000としました。
- 介護保険収入は、140百万円を見込んでいます。前年度からの繰越金他27百万円を加え、収入合計は167百万円を見込んでいます。支出は、介護納付金を155百万円と見込んでいます。その他予備費に12百万円を計上し、支出合計167百万円となります。

